

第8期瀬戸市高齢者福祉計画・介護保険事業計画 評価表（令和5年度上半期）

1 地域包括ケアシステムの深化・推進

(5) 高齢者の住まいの安定的な確保				
評価項目	分野	年間目標値	上半期実績値	達成度
⑩居住支援協議会を通じた住まいに関する相談件数とマッチング件数 ※年間合計	介護 住まい	50% (*)	38.89% (7件/18件)	B
		目標値には未達であるが、今年度は、より住宅の確保に困難を抱える事例、緊急を要する事例について相談を受けた。		
⑪居住支援ケース検討会議開催数 ※年間合計	介護 住まい	5回	2回	B
		目標値には未達であるが、スムーズに各支援機関と連携を取ることができるようになった。		
⑫介護サービス相談員派遣回数(施設サービス) ※年間合計	介護	18回	16回	B
		派遣回数は良好。下半期も、積極的に実施していく。		

(*) 令和4年度下半期から目標値修正

⑩年間目標値 80%→50%

- A 達成できた
- B おおむね達成できた
- C あまり達成できなかった
- D 達成できなかった

総合評価

B

担当部署評価

おおむね安定して事業を実施した。居住支援については、困難な事例にも対応できた。その後の生活についても、支援体制を検討することができ、長期的なサポートを行うことができた。介護サービス相談員派遣については、サービス種別の多様化など工夫をした。下半期は派遣事業所と介護サービス相談員と行政とで3者会議等の打ち合わせを行っていきたい。

評価委員会評価

令和3～4年度の評価委員会では、居住支援ケース検討会議開催数や介護サービス相談員派遣回数について、いろいろな指摘を受けていたが、徐々に改善されている点は評価できる。介護サービス相談員派遣回数について、上半期時点で目標値に近い実績値となっている。目標値の修正については、現場のモチベーションの維持を考慮し、

現状のままとする。